

ツアーコンダクター体験研修（奈良・大阪）

ツアーコンダクター体験研修（国内旅程管理主任者研修）が、2020年8月20、21日に催行されました。コロナ禍で、催行が危ぶまれましたが、こんな時期だからこそ、コロナ感染予防対策を徹底し、催行することに意味があるのではないかと、主催者、参加者ともに緊張の中で出発日をむかえました。

2日間の行程の中では添乗員の業務を割り振り、参加学生自身が添乗員として業務を学びました。

8月20日（1日目）、大阪駅付近に9：45に集合。

集合時間前から、添乗員の仕事は始まっています。集合場所の周りの施設（トイレ、売店）をチェックし、受付時には体調チェック、検温、バスの座席への誘導。

バス内では、これからの1泊2日を楽しんでいただくよう、話し方に工夫をし、次の目的地への興味をそそる案内をしなければなりません。

最初の訪問地、平城宮址に到着。きちんと下調べをしていた添乗員は、お客様への案内もしっかりこなしています。

昼食までの移動中、添乗員は、昼食の魅力的な内容をお客様に伝えます。

昼食後、再びバスに乗車し、東大寺へ移動。



その後、大阪に戻り、宿泊ホテルへ。

ホテル到着後、1日中炎天下で添乗員体験をしていたので、いったん休憩を挟みました。リフレッシュ後、ホテル総支配人による業界説明やこぼれ話をお伺いし、ホテル館内視察。ホテル業界に興味のある学生も参加していたので、担当者への質問が絶えることがありませんでした。



8月21日（2日目）

ホテル内のレストランにて朝食。

朝担当の学生添乗員は、誰よりも早く起床し、レストラン会場へ向かっており、プロ意識を感じさせられました。朝食後、電車であべのハルカスへ向かい、ハルカス 300（展望台）で360度の展望台の説明を受け、ホスピタリティも同時に学びました。

ここでは、添乗員の、お客様がしっかり付いてきているか常に確認している姿がありました。自由行動を挟み、全員で難波へ移動しました。自由昼食後、近畿日本ツーリストの現役社員による業界説明を受けました。

最後に、プロの添乗員から総評。

- ・自分の担当の役割を理解し、しっかり下調べをしていた
- ・先を読んだ行動ができていた
- ・時間の使いかたがうまかった
- ・積極的に学ぼうとする姿勢がみられた

と、全体的に良い評価で締めくくることができました。



この「ツアーコンダクター体験研修」は、旅行会社で働きたい、添乗業務を仕事にしたい人にはもちろん必要な研修ですが、業界を問わず、社会で働く上で必要とされる

- ・社会人としてのマナー
- ・1つの団体をマネジメントしていく力
- ・発信する力
- ・先を読む力、想像力
- ・危機管理能力

の重要性を実感出来る研修となっています。そして、また、今の自分には何が不足しているのかを実感できる研修でもあります。

学生の皆さんには、今回の経験を生かし、今後の成長へとつなげて頂きたいと願っております。

<<参加者の声>>

- ・コロナの中、オンラインではなくオフラインで実施できてよかった
- ・それぞれの分野でのスペシャリストから話が聞ける機会がもててよかった
- ・暑い中、大変だったが、充実していた
- ・自分になにが足りないのか、今後どうすればよいのかがわかった気がする
- ・次回開催される時は、後輩には是非すすめたい

「ツアーコンダクター体験研修」はKIECが継続して実施している研修です。

今回、参加できなかった方も、次回は是非参加してくださいね。

今回は国内だけでしたが、「海外ツアーコンダクター体験研修」を再開できる日が訪れますよう、願ってやみません。